議員でつくる広報誌

むかわ議会だより

ピカピカの１年生（中央小）

２ｐ～３月定例会
６ｐ～ここが聞きたい！７人の議員が一般質問
１３ｐ～平成29年度予算審査特別委員会
１６ｐ～平成28年度活動状況
１７ｐ～議員定数と報酬について
１９ｐ～委員会報告
全国町村議会表彰

No.42
2017．4．30発行

発行 むかわ町議会
〒054-8660　北海道勇払郡むかわ町美幸２丁目88番地

編集 議会広報委員会
☎ 0145-42-2486　FAX 0145-42-4994

サンデー議会

耕(おこ)そう！むかわの底力

政策課題の仕上げ、拡大、展開の29年度・予算決まる

平成29年第1回議会定例会は、3月5日・7日・9日の3日間開催し、町長の執行方針、教育長の執行方針が示されました。また、本会議の他に各会計予算審査特別委員会が開催されました。7名の議員が一般質問を行い、本会議では、同意1件、29年度予算を含む議案29件、議員から提出のあった発議1件、選挙1件、意見書5件について審議し、全て原案のとおり可決しました。

29年度予算

会計名		29年度予算	28年度予算	増減率(%)
一般会計		80億1355万円	100億9036万円	79.4
特別会計	国民健康保険特別会計	21億6815万円	21億7752万円	99.6
	後期高齢者医療特別会計	1億3100万円	1億2301万円	106.5
	介護保険特別会計	9億1948万円	8億9454万円	102.8
公営企業会計	上水道事業会計	4億6331万円	5億5970万円	82.8
	下水道事業会計	6億2815万円	6億3222万円	99.4
	病院事業会計	3億7233万円	3億7174万円	100.2

29年度主な事業

- 第2子以降の3歳児未満の保育料所得に応じ無償化
- 経済的不安の新婚者に住居費や引っ越し費用を支援・・・・・120万円
- 穂別地区放課後子どもセンター新築・・・・・・・・・・1億1770万円
- 学校給食施設運営開始・・・・・・・・・・・・・・・・1億0002万円
- 介護予防・日常生活支援総合事業の開始・・・・・・・・・5196万円
- はーとふる・りふぉーむ事業：持ち家リフォームの追加・・3300万円

Welcome to
MUKAWA
DINO WORLD!

恐竜ワールド事業・推進

むかわ町の総合戦略が策定され「恐竜化石を活かしたまちづくり」をはじめとする基本目標が掲げられ、持続可能な住み良いまちづくりに取り組んでいますが、定例議会で審議されたなかで「恐竜ワールド戦略室の設置、恐竜ワールド構想推進計画（町HP、配布概要版参照）が提示されました。

また、恐竜プロジェクト事業の予算では、民間の恐竜ワールドセンターへの支援、講演会、意見交換会の開催事業、博物館周辺の再整備基本計画の策定、PR活動として看板・記録映像の配置、産業起業家育成事業など多岐にわたり予算化されました。

サンデー議会

給食・安定した運営を

いよいよスタート

6月1日給食開始

【議案審議】

◆学校給食センター設置条例

給食センターの設置条例が提案され可決されました。

主な内容

- 教育委員会が管理し、児童生徒への給食業務を行う
- 給食センター運営委員会を設置（委員は10名以内）
- 給食費は、教育委員会が定める
- 実施時期を6月1日
- 調理は委託方式
- 食材調達は町が発注

問 大松議員　保護者への説明で、口座振替、滞納対策で児童手当からの振替など、意見はありましたか。

答 振替については、質問・意見はありませんでした。

地場産品をより多く使ってほしいとの意見がありました。

問 北村議員　運営委員会の役割は。

地元産品の特別メニューを年4回とありますが、どのようなものですか。

答 委員は栄養教諭、調理関係業者、校長、PTAの代表、学識経験者を委任し、給食費の設定など、給食の重要な事項を決める機関であり、運営上の連絡会議は別途設置します。

特別メニューの食材は、むかわ産のものを使って、むかわの季節を感じられるような給食を考えています。

問 北村議員　食材はどのように発注しますか。

答 学校栄養教諭が献立を作成し、必要な食材のリストに基づき教育委員会が発注します。

問 野田議員　食材の地元業者からの調達をどのように考えていますか。

答 地元業者からの調達は、現在協議中です。

【同意】

◆教育委員会の委員の任命

穂別617番地4
菊地　英智　氏（再任）

元気よく　ハイ

サンデー議会

支えあう地域づくり推進

見守り支援条例
関係機関の情報共有化

【議案審議】

◆高齢者等見守り支援条例の制定

●支え合いによる地域づくりを推進するため、町と関係機関、団体等が支援を必要とする者の情報の共有化と連携を推進する施策についての条例
（詳細は町広報を参照）

問 大松議員　名簿は、特定の団体等の申し出のみに提供されるものですか。

答 個人情報になり、条例の中で提出団体、提出内容も明記され、取り扱いも規定をしています。
見守り支援の目的以外の使用は違反となります。

問 三上議員　提供する情報は、氏名、住所、年齢、性別という基本的なもの以外に本人が同意した事項とはどのような想定をしていますか。

答 見守り支援に必要な事項で、例えば、緊急の連絡先、福祉サービスの利用状況などです。

◆町税条例等の一部を改正する条例

●社会保障の安定財源の確保を図る税制の改革を行うため、地方税及び地方交付税の一部を改正する法律等の一部改正に伴い所要の改正

主な内容

●消費税が10％となる段階で、法人町民税の法人税割の税率を9・7％から6％に引き下げる

●個人住民税の医療費控除の特例としてスイッチOTC薬の購入費用の一部を控除する。

●他に、再生可能エネルギー事業者の固定資産税の特例措置、軽自動車税グリーン化特例の1年延長、町民税の修正申告の延滞金の計算期間について等の改正です。

【反対討論】

北村議員　法人町民税法人税割は下がるが、法人事業税として国税は上がり中小法人の負担が増え、地方が消費税が10％になることの弊害を地方の住民と地方自治体に転嫁するなど問題があるので反対します。

【賛成討論】

三上議員　社会保障の安定財源、これを確保するという所要の改定なので、そうした観点から賛成します。

【採決】

賛成多数で原案可決

その調子（朗読教室）

サンデー議会

【議案審議】

◆指定管理者の指定に関する件
●高齢者生活交流センター「ひだまりの里」を社会福祉法人鵡川慶寿会に10年間契約で指定
●「穂別キャンプ場」を㈱シオニーに5年間で指定

◆総合支所設置条例の一部改正する条例
●総合支所に「恐竜ワールド戦略室」を新たに設置する条例

◆町職員の勤務時間、休暇等、育児休業等に関する条例の一部改正
●地方公務員法の育児休業、介護休業等に関する法律に伴う改正

◆介護保険法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例

◆指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営の基準に関する条例の一部改正
●法の基準の一部改正に伴う改正

◆学校給食検討調査会条例の廃止
●答申を終え廃止するもの

◆町国民健康保険税条例の一部改正
●所得税法等の改正に法律の公布に伴う所要の改正

◆特別職で非常勤の報酬、費用弁償に関する条例の一部改正
●学校給食検討調査会委員を削除
●学校給食センター運営委員報酬で委員長7千円、委員6千500円とする
●地域おこし協力隊員報酬を月額18万5千円とする

採択された意見書

●国民健康保険財政調整交付金削減のペナルティーの廃止に係る意見書
●国民健康保険における子どもに係る均等割額の免除及び軽減に関する意見書
●新たに創設される給付型奨学金の規模拡充を求める意見書
●安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書
●介護保険制度の見直しを求める意見書

頑張ってください（むかろん辞令交付）

学校給食の「無償化」で子育て支援を
最初からの「無償化」は考えていません

大松紀美子（おおまつきみこ） 議員
OOMATSU KIMIKO

問 待望の完全学校給食が6月1日から始まります。実現への道のりは長く厳しいものでしたから、感慨深く感じています。

憲法26条では、教育を受ける権利、教育を受けさせる義務を定め、義務教育は無償とすることも定めています。

また、学校給食法では、給食が教育の一環であると定めています。

町はこれまでも国に先駆け、保育料の軽減や18歳までの医療費還元事業などさまざまな子育て支援を行い、保護者の負担軽減を図っています。

給食費についても「無償化」を行い、子育て支援の充実を図る考えはありませんか。

答 学校給食提供にかかる経費のうち、主に食材費は、給食を受ける児童生徒の保護者などが負担とすることが定められています。

安定した給食事業の運営を行なうためにも、給食費を納めていただく前提で進めてきました。

最初から無償化するところまでは考えていません。

問 全国・全道で給食費の負担軽減が広がっています。

背景には、子どもの貧困が深刻化し、自治体としても補助を考えなければならない状況があることです。

また、人口増を図りたいとの政策でもあります。

道内では、79市町村が補助を行っています。

全額補助は14市町村、多子世帯への全額補助は10市町村ほどです。

給食費の多子世帯への軽減の考えはありませんか。

答 多子世帯の軽減を29年度予算ベースで考えると、仮に第2子が半額、第3子以降が無料とした場合、340万円ほどの財源が必要です。

多子世帯だけが重い負担であるか、所得制限の有無など検討すべき課題はあると考えます。

国の政策として検討されるべき問題もあるため、引き続き調査を行います。

※この他、就学援助費の入学準備金を早期に支給することを求めました。

はずかしいの？

むかわ町の取り組みは

交流の輪をひろげていきたい

山崎（やまざき） 満敬（みつよし） 議員
YAMAZAKI MITUYOSI

問 兵庫県の丹波市は、むかわ町と熊本県の御船町と連携して、恐竜のまちをＰＲしていくと発表しました。
むかわ町としての取り組みは。

答 博物館の展示品の貸借、町の紹介、民間交流の推進、関連グッズの販売、さらに恐竜化石サミットの開催につながる事を期待しています。
具体的な活動方針が決まれば、連携協定の締結、交流の輪を段階的に広げていきます。

問 スピード感を持ったＰＲや動きが必要と考えますが。

答 これからは、積極的で具体的な取り組みを進めていきます。

問 推進計画を具体的に実施する正念場に来ています。
スピード感を持って対応に努めていきます。

教育の一環として取り組みを

胸を張って言えるように

おめでとう☺

問 三角測量鵡川基点など、歴史的遺産や、当町出身の偉業をなした方など、町の取り組み状況は。

答 鵡川基点は、現在発見されていません。
四季の館での展示など、町内外にＰＲしています。

問 展示だけではなく、町には誇れるもの・人がいる事を小中学校で、教育の一環として取りあげては。

答 町の歴史的な遺産や偉業をなした方々についても、子供達に理解をしてもらい、自分が生まれ育った町は、こんな町だと、胸を張って言えるようにしていきます。

町のPR動画制作は

PRビデオ等制作作業務を実施

佐藤（さとう） 守（まもる） 議員
SATOU MAMORU

問 町の活性化のために地方創生の恐竜ワールド構想、地元力耕上促進事業など多くの事業に取り組んでいますが、町のPR動画作成とユーチューブへの配信は。

答 「鵡川・沙流川WAKUWAKU協議会」事業として、今年度PRビデオ等製作業務に取り組んでいます。

今後、町のホームページにもアップする予定です。

1月29日からユーチューブへの動画を配信しています。

また、2月3日から2月28日まで広告配信を実施しています。2月28日現在動画視聴回数は1、690回です。

問 ホームページの内容について、まちの紹介も必要ですが、むかわ町に来たら何が体験できるかの内容に重点をおいては。

答 今後、観光事業の部分も含めて、体験型でむかわ町に来ると色々なことができる内容ですが、ホームページの中での展開はかなり限界がありますし、観光協会等の協力を得ながら情報の配信に努めます。

問 まちなかランチチケットの利用状況と夜間の活用は。

答 利用実績は、5、534枚、99・4％の利用率になっています。

まちなかランチチケットは町外に対する飲食店の魅力発信が目的なので、夜間の活用は、目的や実施方法など慎重な議論が必要と思います。

高齢者の交通安全対策は

問 近年、特に高齢者によるブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故が社会問題になっています。

高齢者を対象にした交通安全対策と自主返納者に対して特典の考えは。

答 自治会、老人クラブに呼びかけ、交通安全推進員と警察官による講話、DVD上映による交通安全講習を実施し、交通ルールの遵守と安全運転意識の高揚に努めています。

平成28年度の実績は2月末現在、6団体200人、3月に2団体開催を予定しています。

自主返納者への特典ですが65歳以上の方を対象に新年度から、自主返納者に金券等の助成をする方向で協議を進めています。

交通安全教室（はつらつ人材センター）

ししゃもふ化場建設計画の経過と今後について

建設に向け諸条件整理

中島（なかじま）　勲（いさお）　議員
NAKAZIMA　ISAO

問 むかわ町における「ししゃも」を行政はどのように捉えていますか。

答 ふ化場建設については、「鵡川ししゃも新孵化場基本計画」に基づき検討しています。

●建設場所は洋光町の旧浄水場跡地の町有地又は花園二丁目地先の国有地を候補地としています。

●取排水箇所は鵡川橋上流、鵡川大橋下流を想定し、検討してきました。

●また昨年8月北海道開発局とも数回協議をしました。

●「浜の活力再生プラン」との関わりですが、このプランがふ化事業の実施を基本方針としていますので連携を取りながら進めていく考えです。

●ふ化場建設の見通しについては、水利権等の占用許可申請・認可等の諸問題があり、早くて4年から5年後の工事施工を想定しています。

●水産振興基金の運用については、基金条例により管理運用しており、使途について明確に区分けをしていません。

問 平成7年に旧鵡川町議会で町魚制定を議決していることは非常に重みがあると思います。

行政は積極的に取り組むべきでは。

答 町も努力しますが、北海道も苫小牧地方総合開発期成会を通じ国に対して要望活動の重点項目に上げています。

新年度内に基本設計に結びつくよう、建設に向け一定の方向性を整理します。

老人クラブ高砂会の活動拠点について

当面、介護予防センターを使用

動き出した恐竜ワールドセンター

問 高砂会の活動拠点、介護予防センターは他の団体も使用しており、使用時間競合など利用しづらいことが多いことから他施設への移転について要望した経緯があります。

その結果はどのようになっていますか。

答 一昨年10月にむかわ町対話型集会で、活動拠点のあり方について役員の皆様と懇談しました。

町として旧「寿の家」も含めた既存施設の利活用について提案しました。

その後数回にわたり協議を重ねてきましたが、現状としては現行どおり介護予防センターを活用しながら利用しやすい施設使用の調整を図っていくことになりました。

今後とも高齢者の生きがいづくりや健康増進活動に支援していきたいと考えています。

恐竜の命名の経緯は
通称は変わることも

野田（のだ） 省一（しょういち） 議員
NODA SHOUITI

問 恐竜ワールド推進計画は、町全体での機運が高まることが必要です。

穂別地区では、町が提示したハドロザウルスの名称について、認識の違い、あるいは郷土愛より喪失感を持つ方が少なくありません。

ハドロザウルスの総称、通称の命名決定はどのような経緯ですか

答 「通称」は以前の「ホベツアラキリュウ」の例のように、一旦決定した通称であっても、研究論文の発表時に学名の決定後、あるいは化石発見者や発見地域などに敬意を表するなど、諸事情から、今後通称名が変わっていくことは考えられます。

「総称」は、町内外に情報発信していく上で、ハドロサウルス化石の名称だけでも先行させたいと考えました。

名称の選考は、先進的な事例では、自治体の名称がつけられていることが多く、また、発見者が名づけ親となっているケースもあると調査しました。

名称は、化石発見者の意向を尊重し、発見者と面談し、「むかわ竜」とすることに了承を得ました。

その際に合併10周年を迎え、住民の一体感を醸成するために「新町名をつけることに意義があると思う」と、話をいただきました。

問 通称や新たに総称名がつけられ、町民の認識の違い、異論は今感じていますか。

答 情報発信の仕方が弱く、名称について疑義を持たれる町民もいると思います。

今後は、さまざまな情報媒体を介し理解をいただきたいと思っています。

問 化石の地域資源は、これまで40年以上の思いがありますので、通称、総称について認識の違いを理解できるように、努力を重ねて普及する考えは。

答 通称あるいは総称の解説の仕方、もう少し丁寧さが必要だったと反省をしています。

今後、恐竜の学名が決定した場合は、通称名の取り扱いについては今回を踏まえながら、より丁寧な取り組み対応と今後の検討課題にしていきます。

	新　規	既　存
発見化石	ハドロザウルス	首　長　竜
愛　称	今後公募	ホッピー
通　称	むかわ竜	ホベツアラキ竜
学術名	今後期待	？

購入したティラノサウルス

「民族共生象徴空間」整備に伴う本町との関わりは

アイヌ民族が自ら世界観を学び自立することを期待

小坂（こさか）　利政（としまさ）　議員
KOSAKA　TOSHIMASA

問 本町アイヌ民族と象徴空間との関係について。

答 「象徴空間」を拠点としてアイヌ文化伝承者等の育成をしていきます。

問 本町のアイヌ行政が果たす役割について。

答 白老町の地元体制が整った時点で、他町との連携が図られるのでその動向をみていきます。

問 年間１００万人の受け皿としての本町の対応について。

答 観光連携の視点からも関連協議を踏まえ、積極的に対応します。

問 アイヌの生活文化と自然との関わりについて。
特に、森林における食文化と町魚「ししゃも」とのかかわりは。

答 鮭、ししゃも、鹿狩り、山菜採り等もアイヌの伝統的な食文化であり、特にししゃもは重要な食料であり、現在においても資源として重要です。

問 アイヌ民族の伝承文化として、森林における本町と象徴空間整備の関わりは。

答 むかわ町としてもアイヌ協会、町民も含めて意見をいただき、今後考えていきます。

基幹産業（農・林・水産業）の社会ニーズに対応する施策について

一次産業における担い手対策については、産業の枠を越えて連携が必要

問 食育・木育をそれぞれ教育行政とも連携した本町独自の文化創設を図るべきと思うが。

答 基幹産業である農・林・水産業を学ぶ（食育・木育）事業推進に努めます。
また、教育行政との連携についても調査・検討を深めます。

問 合併10年が経過し、新しいニーズに向けた取り組みについて。

答 職員間の情報の共有、共通認識のもと、地域産業の振興に努めます。

※この他、超高齢化社会に向けた本町の対応について質問しています。

甘くなれ（メロン定植）

住宅支援で若者が住み続けられるマチへ

住環境を良くし、家賃の低廉に制度等の活用で

北村（きたむら）　修（おさむ）　議員
KITAMURA　OSAMU

問 町の「人口減少率」は高いものがある。高齢化、病気等による自然減だけでなく、若者などが町を離れる社会減があります。この間の「総合戦略構想」の取り組みなどの状況は。

答 3年連続で2％を超える状況です。特に15歳から64歳までの生産人口の減少が3・8％です。住宅課題について否定は出来ず、町として賃貸住宅の改修助成に加え、平成29年度から中古住宅購入助成（はーとふる・りふぉーむ助成事業）などを進めています。総合戦略は3つをつなげ「地元力の耕上」の4つを基本にして推進していきます。

問 鵡川地区では町の職場に就職した若者が高い家賃等で町を離れる事態が見られますが。

答 若い方が職場を離れるとした事が役場も含めてあります。家賃が高すぎてとの認識はしていないが、できるだけ家賃を抑えたいとして、はーとふるちんたい助成事業を行っています。

問 鵡川地区での公営住宅の入居要望は多いが、対応できない事態がある。実態にあった対応を。

さらに、古くなった公住の再活用として、制度変更で独身の若者も活用できる対応を。

答 これまでも指摘があり、対応は可能だが、修繕費用がかかり、若者が住むような快適な環境にはなりません。

国保事業の都道府県化で国保税引き上げにならないように

平成30年から道が財政運営に、町は道の基準で税率を決め賦課する

問 すでに北海道はパブコメ実施など、具体化が進められている内容は。

答 財政運営は道になります。

町は保険給付、税率決定、賦課・徴収などこれまで通りです。

問 これまで町が独自に出来た法定外繰入、負担減免などは。

答 都道府県化後に検討、法定外繰入は今まで同様に可能です。

問 保険税は「納付金」として100％としているが、現状では無理であり、どのような対応をするのか。

答 「納付金」は市町村ごとに算出となり、納付金の額が決まった際に行う税率改正では、低所得者の方に配慮した内容で進めます。

三青年部交流会

予算審査特別委員会

平成29年度　各会計予算審査特別委員会（津川篤委員長）が3月7日・8日・9日の3日間で審議しました。
一般会計、他6会計の審査を、議長を除く12名の委員で審議し、認定すべきものと決定しました。

ズバリ 聞きます

質疑

ふるさと納税

問 野田委員　ふるさと納税の支出割合は。

答 返礼品は、送料を含め寄付金額の半額程度で、その他、新商品開発・委託料など3％です。

問 山崎（満）委員　29年度の新たな取り組みは。

答 インターネットで、返礼品を選ぶ際の、利便性を向上しました。

恐竜プロジェクト事業

問 三上委員　博物館周辺エリア再整備計画を委託するに当たり、行政がある程度の想定をもって委託をしますか。

答 委託に際し、新しく出来る恐竜ワールド戦略室が関係部署と協議をしながら、ある程度の再整備を考えて、委託業者と議論をします。

問 大松委員　博物館周辺エリア再整備計画の構想が示されない中、新聞報道がありました。
どういうことか説明願います。

答 3月6日の電話取材で、ひとつの案として対応したものです。

鳥獣対策事業

問 星委員　ひぐま20頭分の予算の根拠は。

答 過去の実績を見極め予算措置をしました。

緊急通報システム

問 三上委員　予算が年々減少しているが、システムの利便性や必要性を多くの方に理解してもらう事が必要では。

答 ひとり暮らしや高齢者の夫婦の方々にもPRをしていきたいと思います。
また、地域間で利用促進の差があり地域形態に即したPRを進めます。

福はうち

ズバリ 聞きます

資源管理型漁業推進

問 中島委員　ししゃもふ化事業化検討会のメンバーと開催時期は。

答　町・漁協・農業関係団体・開発局などです。
　年度明けに漁協と、ししゃもふ化場の建設に向けた協議を進め、その後、検討会を開催する予定です。

問 小坂委員　ししゃもふ化場は、研究結果・成果が発信できる施設でなければならないと思うが。

答　平成26年から、全道に向けししゃもの生態解明・資源管理の要請を苫小牧地方総合開発期成会として行っています。
　合わせて、研究機関との連絡連携、そこでの生態解明、また、全道町村会で、道内主要魚種の中に、ししゃもの名前も含まれているので、積極的に努めていきます。

これからも仲良くね

起業力耕上促進事業

問 野田委員　補助金は、既存の業者でも可能か。

答　新商品開発や、販売促進などが対象にもなっています。

移住定住促進事業

問 北村委員　新規の戸建て住宅等リフォーム助成事業で、町内業者施工の80万円の助成の根拠は。

答　町内業者による新築の助成が１２０万円。
　移住定住による中古住宅取得助成が80万円。リフォーム併用で20万円で合計１００万円。
　二つの助成金額を超えない金額として80万円としました。

町営住宅維持管理

問 三上委員　行政主導で入居の少ない住宅の集約をする考えは。
　多少の移転費を見ても、維持管理費の削減、安心安全のためにも必要ではないか。

答　入居者の方々に、どのような形が良いのか、調査を行います。

防災初動対応事業

問 山崎（満）委員　新しい科目の事業ですが、今までの初動対応との違いは。

答　昨年度の災害等を見ると、すぐ出動させなければならない時、実際には予算が決まっていないなど、町長が先決で予備費を流用して対応するのが現状です。
　本年度から新たに事業費として計上し、迅速な対応をするためです。

防災対策事業

問 佐藤委員　自主防災活動補助金は、前年度までは、1団体最高30万円を上限とした事業でしたが、今回から30万円3年間、合計90万円上限と聞いているが。

答　そのとおりです。

ズバリ 聞きます

高等学校振興対策事業

問 佐藤委員　苦小牧方面のバスの停留所の数を、増やしてもらえれば通学しやすいとの意見がありました。

今後鵡川高校の定員の事を考えた場合、苦小牧地区からの生徒確保をどのように考えていますか。

答 高校の振興対策は、町にとっても重要な重点的な施策になっています。

バス路線の関係は、バス停を増やし、決まった時間に生徒を送迎する事は、簡単にはいきません。

問 野田委員　来年度の入試状況で、地元の割合は。

答 鵡川高校は、57名の受験で、地元12名、町外者が45名です。穂別高校は、18名受験で、地元6名、町外者が12名です。

鵡川厚生病院新改革プラン

問 大松委員　改革プランの内容は。

答 平成29年から平成32年の計画です。

地域包括ケア病床は、病気やけが等の治療を終えた後に、ただちに在宅での療養や生活などが困難な場合に、しばらくの間、入院療養するための病床です。

今のところ、40床のうち12床の計画です。

外来は、予約制を取り入れます。

看護師を効率的に配置し、今後必要となる在宅の訪問看護へ、看護師を配置し、待ち時間の縮減も考えています。

総合診療科の部分は、様々な病状で訪れる患者に対して、幅広くどのような診療をしたら良いのか、かかりつけ医と言う形で見ていける診療科を考えています。

緊張しました

平成28年度活動状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日の1年間での議員の活動状況を報告します。

○各委員会等出席状況

	定例会	臨時議会	全員協議会	議会運営委員会	議会広報委員会	総務厚生文教常任委員会	産業建設常任委員会	予算審査特別委員会	決算審査特別委員会	定数報酬特別委員会
委員定数				6	7	7	6	12	12	6
開催日数	9	3	7	7	12	15	11	3	4	11
山崎満敬	9	3	7	○7	◎11	15		3	4	○11
佐藤守	9	3	7	7	12		◎11	3	4	11
中島勲	9	3	6		9	11		3	(注3)	
大松紀美子	9	3	7		12	15		3	4	10
三上純一	9	3	7	◎7	12		○11	3	4	◎11
星正臣	9	3	7	7	○12		11	3	4	
長谷川健夫	5	1	3			3			1	
小坂利政	9	3	6				10	3	4	
山崎真照	9	3	7	2		○11		○3	○4	
津川篤	9	2	6	6		◎14		◎3	◎4	9
北村修	9	2	7				11	3	4	
木下隆志	4	1	4			11		0	2	
野田省一	9	3	7	(7)注5	12		11	3	4	11
三倉英規	9	3	7	(7)		(14)	(4)	(3)	(4)	(10)

注1　◎は委員長、○は副委員長になります。
注2　(　　) は、委員会に所属していない議員の出席回数を示しています。
注3　決算審査特別委員会は、監査委員併任のため中島議員は除外しています。
注4　議長は、すべての委員会に出席することが認められています。
注5　議会運営委員会の決定で副議長は、出席することが認められています。
※　長谷川議員は、12月末で議員を辞職しています。

議員定数を１減の13人に（現行14人）

３月定例議会において議員発議し可決

平成29年３月定例議会において議員発議し、むかわ町議会議員の定数を定める条例の一部を改正、議員定数を14人から１人減の13人としました。
なお、この改正により来春予定の選挙から適用されます。

議員定数と報酬等調査審査特別委員会（６人）に付託されていた定数と報酬について、研修会やアンケート、議会報告会などを基に一次まとめをし、３月定例議会において議員発議（三上委員長）し、可決されました。

◆定数検討の論点

- これからの人口減少に対する議員定数は。
- 議会としての機能を維持するための適切な議員数は。
- 多様な世代から議員をめざしやすい定数は。
- 常任委員会の機能が十分に確保される適切な委員数など。

◆議員定数の変遷

議員定数は合併時の平成18年に20人に定められ、平成22年に16人、平成26年には現在の14人となっています。

上手にできました

議会を傍聴しませんか？

議会はどなたでも傍聴出来ます。
一般質問や議案審議の様子を会場で感じてみませんか。

くわしくは
議会事務局へ
TEL ４２－２４８６

◆議員報酬についての主な論点

●次の世代を担う、若い世代を含め、議員をめざしやすい議員報酬の環境整備を整えるべきでは。

●胆振管内や道内の人口規模が類似した自治体の現状。

●町内の経済状況で町民の理解が得られる報酬額とは。

●町財政への影響など。

◆特別委員会から報告を受けた議会の経過と結論

二元代表制での議員としての活動領域が拡大しています。

本会議・委員会等への出席、これに付随した表に現れない事前準備等には多くの日数を必要とする現状にあります。

現在の議員報酬で生活することは出来ず、他の収入と合わせなければならない実態にあり、特に若い世代の議員誕生を望むことは厳しい状況にあります。

他府県において、なり手不足を解消する一つの手段として議員報酬を増額したが、出馬が促進されなかった実例を見ると、報酬を増額したからと言って出馬環境が改善されることにはなりませんが、多くの要素の中の一つとして整備する必要があります。

議論の結果、現在の議会費の予算を超えない範囲で増額したいとし、政務活動費については導入しないことにしました。

議員報酬の改定は、町長より議会へ提案するよう要望しました。

議員報酬の条例改正については、議会基本条例に基づき、原則議員が提案するものとなっていますが、この基本条例の義務規定を尊重しつつ、町長の諮問機関である、特別職報酬等審議会の意見を聴くことも大切であるとのことから、報酬額については、町長より議会へ提案するよう要望をしました。

準備はしっかり（チャリティコンサート）

議会事務局からのお願い

議長宛の文書や案内状などは、議長の公務日程上の調整をする必要がありますので、議会事務局に送付下さるようお願いします。

委員会報告

総務厚生文教常任委員会

学校給食について

【開催日】10月7日、25日、2月10日、17日の4日間

本件は、所管課から取組状況について聴取しました。

また、両地区に建設中の給食センターの現地調査を行いました。

給食については、両地区で統一献立とし、食材は地元調達または地場産品（道内産）の提供を心がける。

児童生徒の状況を的確に把握し、アレルギー対策に取り組み、できるだけ代替食で対応する。

給食費については全道及び管内の平均単価を参考に設定する。

保護者へは学校給食体験会など地元理解への機会を設ける。

給食開始は6月1日を予定。

委員からは、地元調達をできる仕組みづくりをしてほしい。食育計画について、どのように推進していくのか。などの意見交換を行い、調査は終了しました。

給食センター視察

土砂災害警戒区域について

【開催日】1月12日

本件は、所管から説明聴取、その後現地調査を行いました。

平成28年12月末現在、土砂災害の危険箇所は両地区合わせて124カ所あり、穂別地区3カ所、鵡川地区4カ所が土砂災害警戒区域に指定されています。

今後平成29年3月末までに新たに穂別地区のみ21カ所が警戒区域に指定される予定です。

委員からは、道路が決壊する恐れがある場所を避難経路に指定されているので今後の対応が必要。地域と行政が連携をとりながら、住民の安心・安全を守ることが必要。などの意見交換を行い、調査は終了しました。

富内銀河会館避難所機能について

【開催日】2月17日

本件は、所管から説明聴取、その後現地調査を行いました。

銀河会館は平成29年1月末に完成。

災害時収容人員は118人。

建物敷地内には防災用ヘリポート1カ所、災害備蓄倉庫が設置されており、非常用電源発電機1基、防災用毛布220枚、災害用備蓄非常食1980食等を保管する予定となっている。

委員からは、避難所になった場合の寝具等についてはどのような対応を考えているのか。景観を損なわない程度のコンクリートの擁壁が必要。などの意見交換を行い、調査は終了しました。

委員会報告

産業建設常任委員会

学校給食センター建設進ちょく状況について

【開催日】2月17日

鵡川学校給食センターは、2月末の進捗状況は99％で、残り1％は、仮設管理棟の解体を行い完成となります。

穂別学校給食センターの工期は、平成29年2月28日迄で、1月末の進捗状況は、建築主体工事97・2％、機械設備88％、電気設備85％で、2月28日完成になります。

外構工事の山側路盤の整備は繰越明許で、雪解け後行う予定です。

委員からは、搬入路について高校側との協議をどのように行ったのか。など意見交換を行い、調査は終了しました。

富内銀河会館建設進ちょく状況について

【開催日】2月17日

富内銀河会館の工期は、平成28年6月22日から平成29年1月31日で、2月13日に引き渡しが完了しています。

委員からは、むかわ産のカラマツ材をふんだんに利用しているので、建物の説明表示で外部に情報発信し、PRするべき。

防災拠点施設なので、災害等が発生すると孤立しやすい地域であるため対策が必要などの意見交換を行い、調査は終了しました。

全国町村議会表彰

全国町村議会議長会から地域振興の発展、住民福祉の向上、議会の活性化に努めたとして表彰されました。

今後も町民の方々から多様な意見を聞き取りする議会報告会や出前議会の実施など開かれた議会運営を実施していきます。

表紙の写真

4月7日、鵡川中央小学校の入学式です。これからの6年間、勉強やスポーツを頑張って！

発行：むかわ町議会　〒〇五四―八六八〇　勇払郡むかわ町美幸二丁目八八番地
編集：議会広報委員会　〆〇一四五―四二―二四八八　FAX〇一四五―四二―四九九四
印刷：清文堂印刷㈱　〒〇五四―〇〇四二　勇払郡むかわ町美幸一丁目一二番地